

滋賀県下水道第2期中期ビジョン の策定について

令和元年12月26日（木）

目次

1. 現行の下水道中期ビジョンとは
2. 現行の中期ビジョン中間見直しからの変化
3. 現行の中期ビジョンの振り返り
 - ①進捗管理より
 - ②フォローアップアンケートより
 - ③グループワークより
 - ④現行の中期ビジョンの総括
4. 第2期中期ビジョンの策定
 - ①課題の整理
 - ②策定スケジュール（案）
 - ③第2期中期ビジョンの方向性（案）
 - ④計画期間（案）

1. 現行の下水道中期ビジョンとは



1. 現行の下水道中期ビジョンとは

『目的』

県と市町が共同して、様々な課題に適切に対応し、持続的に下水道の機能・サービスを提供していくため、今後の下水道事業のあり方(施策の方向性)を示し、施策を計画的に遂行すること。

「将来の方向」を「見えるようにすること」

- 位置付け : 下水道事業全体の基本方針となるもの
- 施策と目標 : 10年間で実施する施策と目標値を設定
- 計画期間 : 平成23年度から平成32(令和2年)まで
- 沿革 : 平成23年度策定 ⇒ 平成29年3月中間見直し



○施策内容

「暮らし」「安全・安心」「環境」「経営管理」「共通」の
5つの枠組みからなる



1. 現行の下水道中期ビジョンとは

① 計画の概要

暮らし

- ① 汚水処理施設の普及促進
- ② 適正な汚水処理推進のための接続率の向上

安心・安全

- ① 浸水対策の加速
- ② 不明水対策の促進
- ③ 県・市町・民間等が一体となった危機管理の充実
- ④ 点検・診断・改築のメンテナンスサイクルの確立

環境

- ① 水環境の向上
- ② 新たなエネルギーの創造、地産地消
- ③ 地球温暖化対策

経営管理

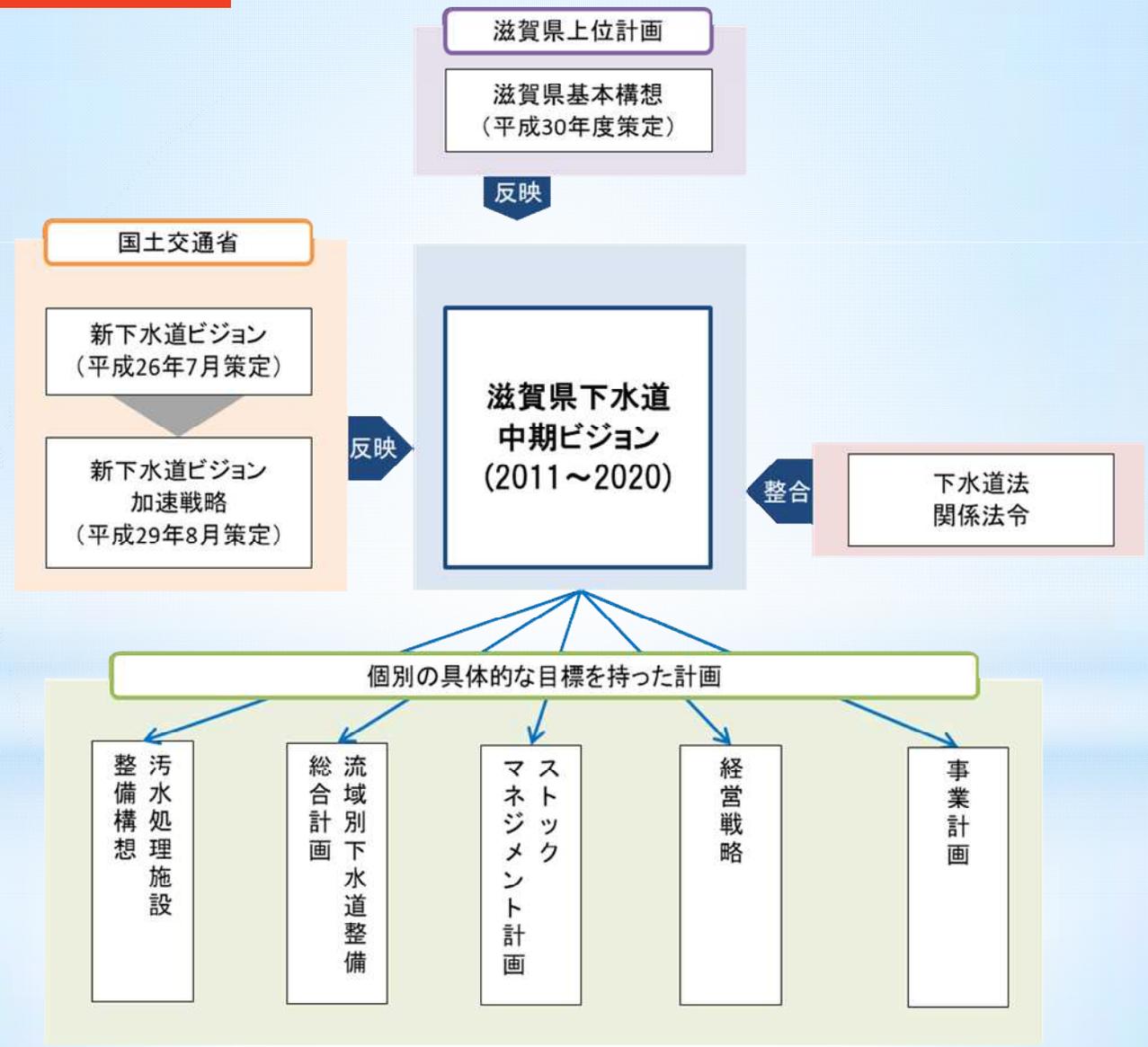
- ① ストックマネジメントの実践と施設管理の広域化・共同化、官民連携手法の導入
- ② 下水道運営力※の向上
※技術力+財政運営力+マネジメント力
- ③ 公営企業会計の活用

共通

- ① 下水道の見える化の推進
- ② 水環境ビジネスの展開支援

1. 現行の下水道中期ビジョンとは

② 計画の位置付け



2. 現行の中期ビジョン 中間見直しからの変化

2. 現行の中期ビジョン中間見直しからの変化

① 関連計画

国

【新下水道ビジョン加速戦略】
（平成29年度から5年程度）

【キーワード】 官民連携、広域化
防災・減災、下水資源

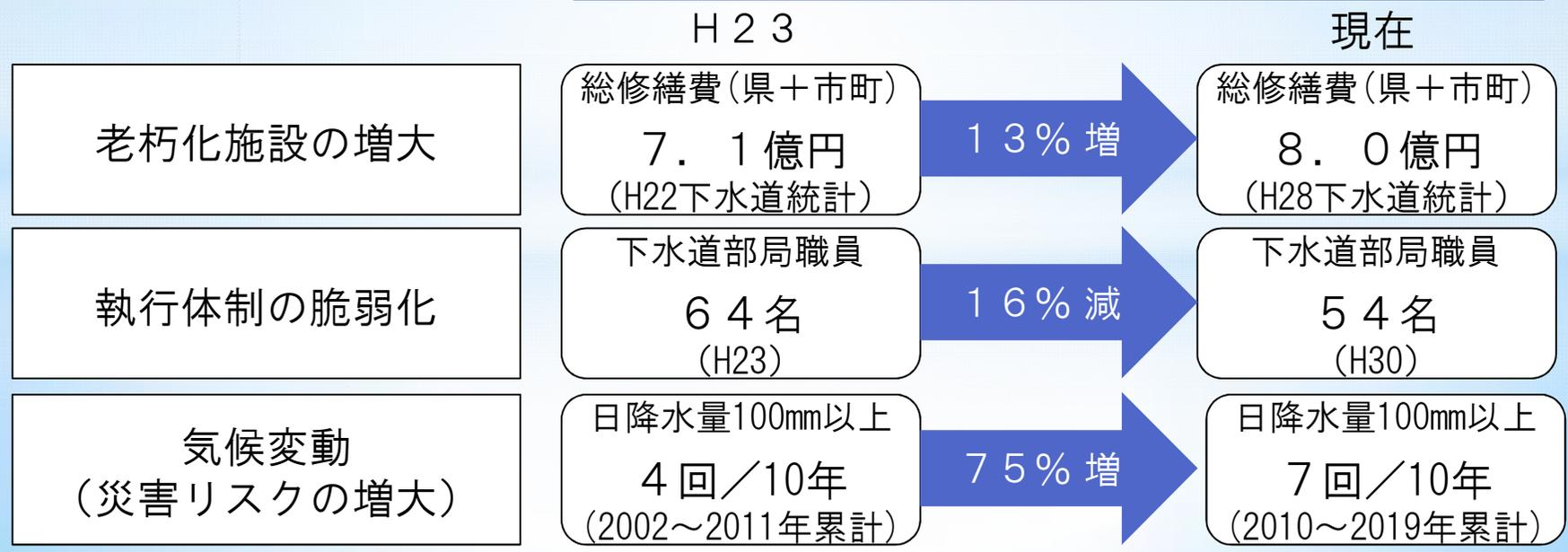
滋賀県

【基本構想】 【環境総合計画】
（2019年度～2030年度）

【キーワード】 変わる滋賀 続く幸せ
守る・活かす・支える、SDGs

② 自然・社会情勢の変化

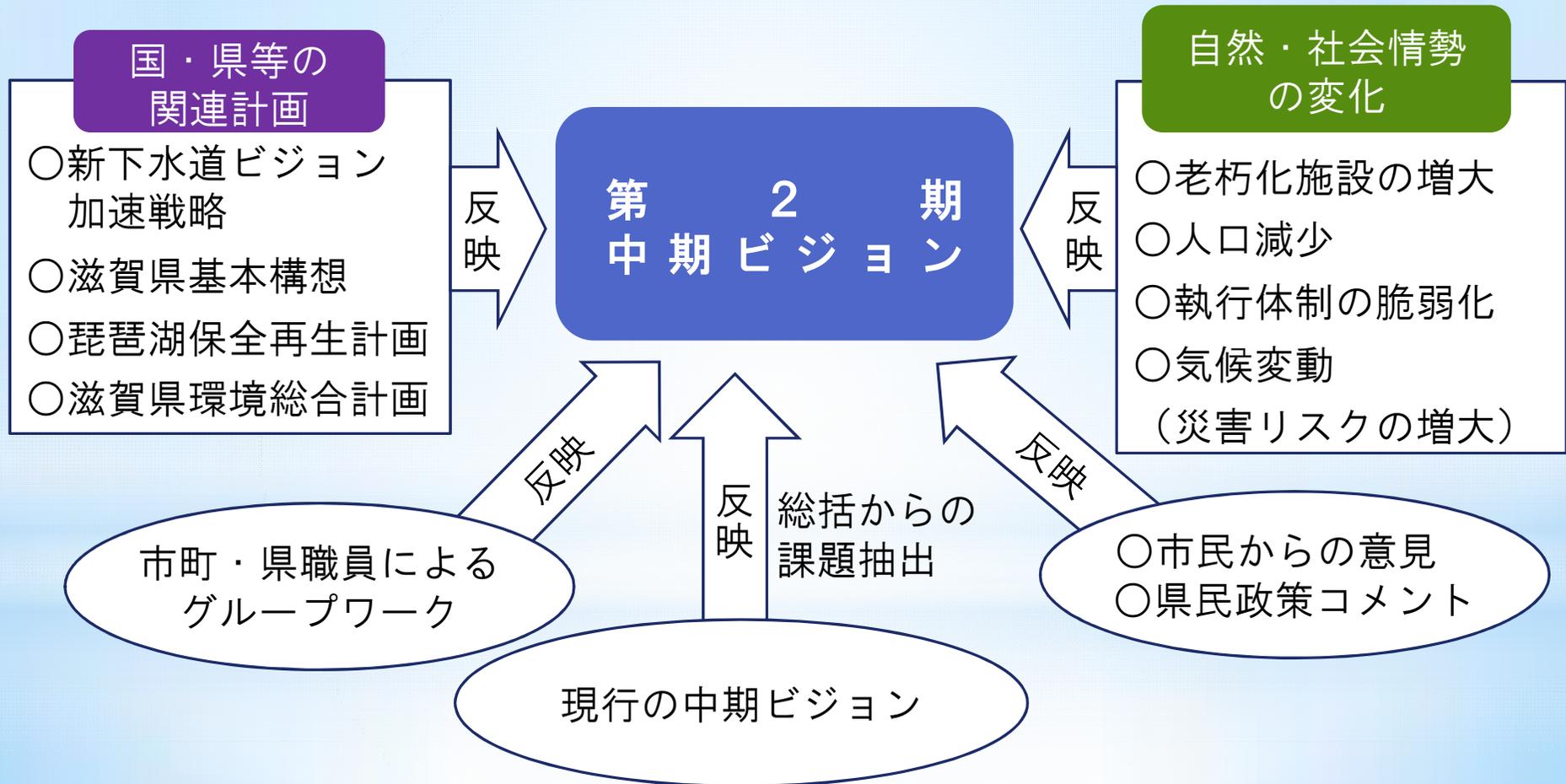
滋賀県





2. 現行の中期ビジョン中間見直しからの変化

③第2期中期ビジョンへの反映

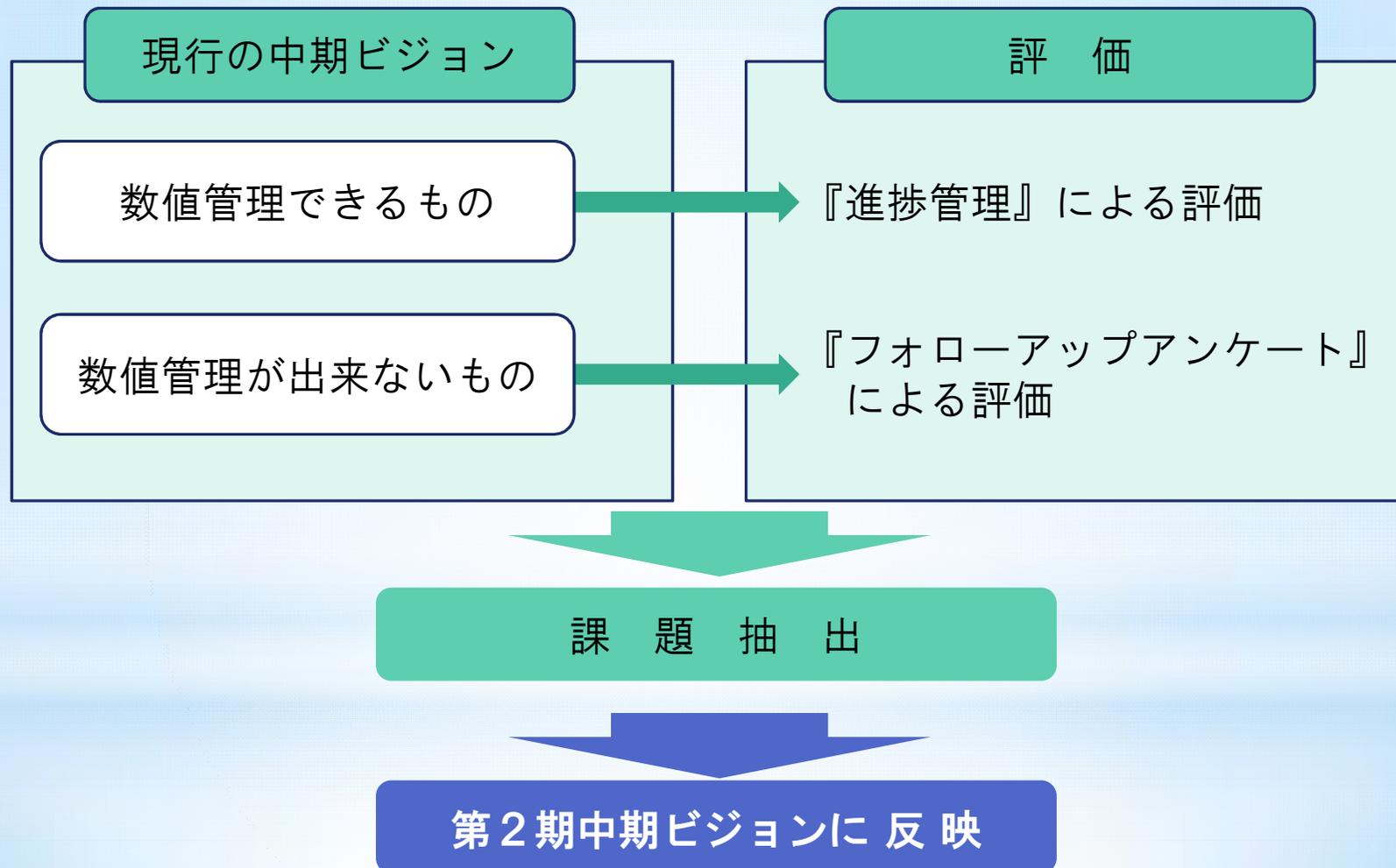




2. 現行の中期ビジョン中間見直しからの変化

P.10

④第2期中期ビジョンへの反映



3. 現行の中期ビジョンの振り返り

3. 現行の中期ビジョンの振り返り

①進捗管理より

毎年度、市町・県により各指標について『進捗管理』を実施

I暮らし

《成果》 ○下水道普及率及び汚水処理人口普及率
 滋賀県汚水処理施設整備構想2016に基づき整備
 ⇒全国平均と比べて高普及率を達成

《課題》 ○整備した資産の適切な保全
 ○接続率の向上

将来像	中期の目標と指標			対象		活動実績			中期目標	結果	備考
分野	目標	主な指標	単位	県	市町	2010 (H22)	2015 (H27)	2018 (H30)	2020 (R2)	達成 状況	補足説明
I暮らし	汚水処理施設の 普及促進	1 下水道普及率	%		○	85.8 基準	88.8 3%UP	90.2 4%UP	92.2 6%UP	☹️ 67点	全国79.3%(H30)
		2 汚水処理 人口普及率	%		○	97.9 基準	98.5 0.6%UP	98.7 0.8%UP	99.3 1.4%UP	☹️ 57点	



3. 現行の中期ビジョンの振り返り

Ⅱ 安心・安全

《成果》

- 1. 浸水対策 ハード対策（防災）とソフト対策（減災）を実施
- 2. 不明水対策 ハード対策（工事）とソフト対策（点検）を実施
- 3. 地震対策 下水道総合地震対策計画に基づき対策を実施
- 4. 老朽化対策 スtockマネジメント計画に基づき対策を実施

《課題》 ○市町の災害対策の推進

将来像	中期の目標と指標			対象		活動実績			中期目標	結果	備考
分野	目標	主な指標	単位	県	市町	2010 (H22)	2015 (H27)	2018 (H30)	2020 (R2)	達成 状況	補足説明
Ⅱ 安全 ・安心	浸水対策	7 内水 ハザードマップ の作成	市町数		○	4 基準	15 11UP	15 11UP	18 14UP	☹️ 79点	県は作成済(H22)
	不明水対策	9 被害軽減対策 の実施数 (ハード対策)	処理区	○			0 基準	2 2UP	4 4UP	☹️ 50点	
		10 不明水発生箇所の 調査・対策実施数 (ハード対策)	市町数		○		11 基準	15 4UP	19 8UP	☹️ 50点	
	地震対策	15 BCP(網羅版)の 策定数	市町数		○		2 基準	11 9UP	19 17UP	☹️ 53点	県は策定済(H22)
	施設の 老朽化対策	18 スtockマネジメント 計画の策定数 (管路)	市町数		○		1 基準	10 9UP	19 18UP	☹️ 50点	県は作成済(H30)



3. 現行の中期ビジョンの振り返り

Ⅲ 環境

《成果》 ○湖西浄化センターにてバイオマス燃料の製造事業開始

《課題》 ○汚泥リサイクル率の低下
○温室効果ガスの増加

将来像 分野	中期の目標と指標			対象		活動実績			中期目標	結果	備考
	目標	主な指標	単位	県	市町	2010 (H22)	2015 (H27)	2018 (H30)	2020 (R2)	達成 状況	
Ⅲ 環境	下水道資源の有効利用	23 汚泥リサイクル率	%	○		71.5 基準	29.7 42%DN	現在 41.4 30%DN	未設定		低下
	地球温暖化対策	24 温室効果ガス 排出量原単位比率 (対H22比)	%	○		100 基準	115 15%UP	現在 116 16%UP	未設定		上昇
			%		○	100 基準	175 75%UP	現在 158 58%UP	未設定		上昇



3. 現行の中期ビジョンの振り返り

P.15

②フォローアップアンケートより

19市町、県（下水道課、2流域事務所）によるアンケートを実施

令和元年11月

評価方法は、設問の趣旨や内容を勘案して、設問毎に設けるものとするが、概ね下表を参考に判定する。

回答項目のうち

○一つのみ回答：「実施した」の回答割合（%）により判断

○複数回答可能：100（%）－「実施していない」の回答割合（%）

評価	5 (大変良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (悪い)	1 (非常に悪い)
達成率	100～80%	80～60%	60～40%	40～20%	20～0%

3. 現行の中期ビジョンの振り返り

II 安心・安全 <<地震対策（ソフト対策）>>

市町・県ともに良好な結果が得られた。

○良い：「下水道台帳の電子化・バックアップ化」に進展があった

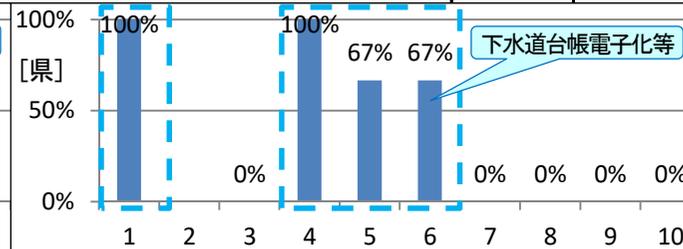
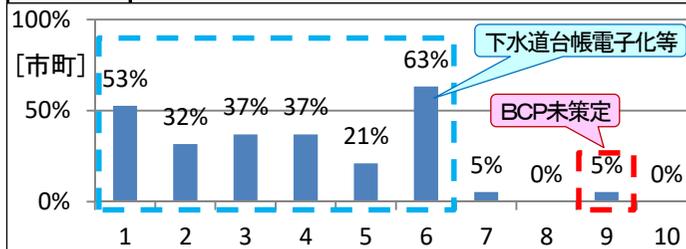
○悪い： BCP計画が未策定の市町がある

問8, 27 地震対策等の推進(ソフト対策)

「地震対策(ソフト対策)」は、どの施策を実施しましたか。あてはまるもの**全て**選択ください。

分野: ④共通項目(その他)

番号	選 択 肢	回答数 (市町)	回答数 (県)
1	BCPの策定(網羅版) ※簡易版は除く	10	3
2	BCPの策定(簡易版)	6	0
3	マンホールトイレの整備	7	0
4	地震防災訓練の実施	7	3
5	災害協定等の活用	4	2
6	下水道台帳の電子化・バックアップ化	12	2
7	ソフト対策は未実施だが、これから実施する予定である。	1	0
8	ソフト対策の予定はない。	0	0
9	取組むべき施策に該当しない。	1	0
10	その他※()	0	0



BCP計画とは

自然災害により
下水道施設が
被害を受けても、
下水道機能を
中断させず、
たとえ中断しても
許容時間内に
復旧できるように
するための計画

3. 現行の中期ビジョンの振り返り

IV 経営管理 <<下水道運営力>>

市町・県に対して課題の残る結果となった。

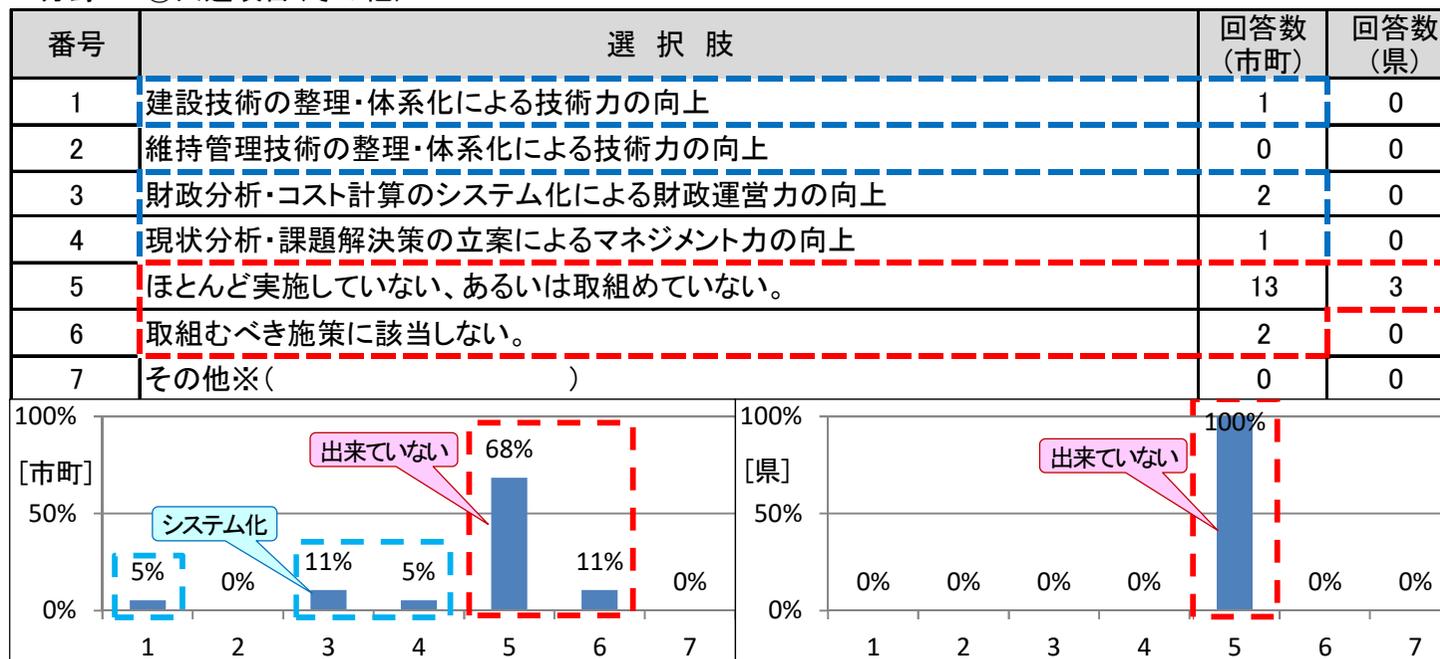
○良い：「システム化による財政運営力の向上」の好事例が2件あった

○悪い：「建設・維持管理技術の整理・体系化」が出来ていない

問19,39 下水道運営力(技術力+財政運営力+マネジメント力)の向上

「下水道運営力の向上」は、どの施策を実施しましたか。あてはまるもの全て選択ください。

分野： ④共通項目(その他)





3. 現行の中期ビジョンの振り返り

IV 経営管理 <<人材育成>>

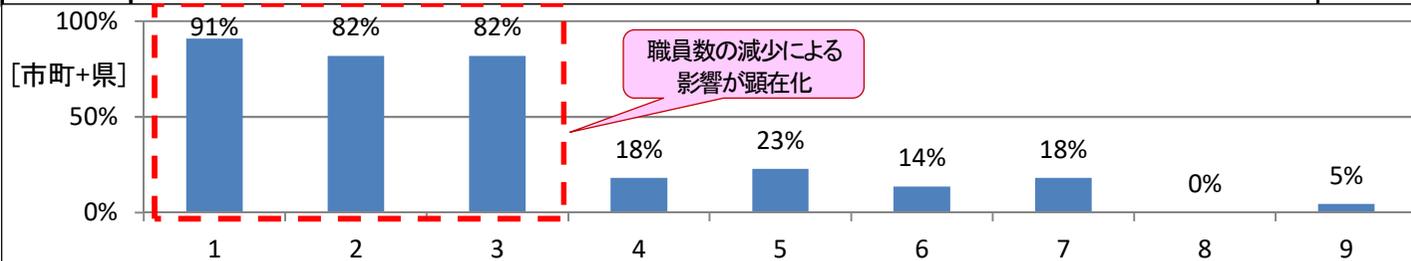
《課題》 ○職員数の減少による影響が顕在化している。
 ⇒一人当たりの事務量が増え、技術継承や人材育成が益々困難になっている。【要対策】

[問62] 職員数の減少

「職員数の減少」の実感について、あてはまるもの全て選択ください。

分野: ④共通項目(その他)

番号	選 択 肢	回答数 (複数可)
1	一人当たりの事務業務量が増加している。	20
2	一人当たりの職務が多様化・複雑化している。	18
3	技術継承や人材育成が困難となっている。	18
4	高齢化している。	4
5	職場環境の悪化やモチベーションの低下が問題になっている。	5
6	住民サービスが低下している。	3
7	外部委託・民間委託等の活用が進んでいる。	4
8	わからない。	0
9	その他(実質、担当職員が1名である。)	1



3. 現行の中期ビジョンの振り返り

V 共通 << 広報・教育活動の拡充 >>

<< 成果 >> ○多様な手段を用いて、地域住民等に広報・啓発活動等を行った。

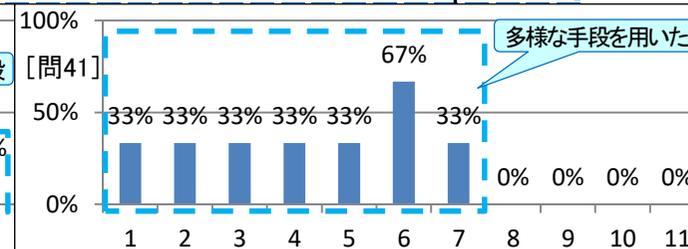
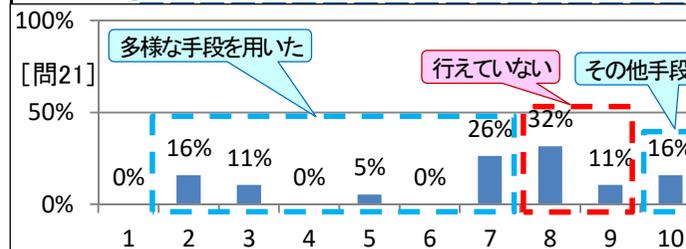
<< 課題 >> ○約4割の自治体が広報・啓発活動等行っていない【要対策】

[問21] 見える化の推進

「見える化」は、どの施策を推進しましたか。あてはまるもの**全て**選択ください。

分野: ③経営

番号	選 択 肢	回答数 (市町)	回答数 (県)
1	住民・企業・大学等との協働	0	1
2	広報・教育活動	3	1
3	学校や地域自治会等での参加型学習活動	2	1
4	滋賀県下水道審議会の活用	0	1
5	民間事業者との共同研究	1	1
6	淡海環境プラザの活用	0	2
7	下水道の仕組みと大切さの周知・正しい使い方の啓発	5	1
8	ほとんど実施していない、あるいは取組めていない。	6	0
9	取組むべき施策に該当しない。	2	0
10	その他※(牧浄水場開放時における下水道ブースの開設)	3	0
	その他※(マンホールカード)		
	その他※(公営企業会計の導入)		



4. 第2期中期ビジョンの策定



4. 第2期中期ビジョンの策定

P.21

① 課題の整理

「進捗管理」「フォローアップアンケート」の2つの調査結果から客観的に『課題』を把握

- 「汚泥リサイクル率」
⇒ 県においてH22年度より約30%低下している。（数値管理）
- 「温室効果ガス排出量」
⇒ 県においてH22年度より約16%上昇している。（数値管理）
- 「イメージアップ」
⇒ 市町の広報・啓発活動の実施が少ない。（アンケート）
- 「人材育成」「人手不足」
⇒ 市町・県とも多くが困難を実感している。（アンケート）
- 「維持管理、建設に関する技術の整理・体系化」
⇒ 市町・県ともに実施できていない。（アンケート）



4. 第2期中期ビジョンの策定

P.22

②策定スケジュール(案)

項目	令和元年度		令和2年度			
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
現中期ビジョンの総括						
課題抽出						
コンセプト						
将来像の設定						
施策の項目出し						
施策の詳細目標決定						
策定						
下水道審議会						
県民政策コメント						
市町・関係部局への意見照会						

※ その他、必要に応じて県議会に報告



4. 第2期中期ビジョンの策定

P.23

下水道審議会での検討内容（案）

第9回下水道審議会（1回目） 令和元年12月26日

- 滋賀県下水道中期ビジョンとは
- 現行ビジョンからの振り返り
- 今後の進め方
- 計画期間の設定

第10回下水道審議会（2回目） 令和2年3月下旬

- 課題の確認
- 第2期中期ビジョンのコンセプト

第11回下水道審議会（3回目） 令和2年5月下旬

- 施策及び重点施策のキーワード

第12回下水道審議会（4回目） 令和2年7月下旬

- 骨子案の審議

第13回下水道審議会（5回目） 令和2年10月下旬

- 成案の審議

第14回下水道審議会（6回目） 令和2年12月上旬

- 答申

4. 第2期中期ビジョンの策定

③第2期中期ビジョンの形(案)

ビジョンをスリム化、さらに重点項目を決め「強弱」を付けることにより「方向性を分かりやすく」したい。

現行の中期ビジョン

具体的施策		目標値
○未普及解消	⇒	92.2%
○接続率	⇒	最終100%
○雨水整備率	⇒	最終100%
○ST多段法比率	⇒	63.3%
⋮		⋮
⋮		⋮

○下水道事業すべてに関わる計画を網羅し、
各々に目標値を設定

○進捗を管理

第2期中期ビジョン

○将来の方向性を記載

(例)

- 中期目標
災害に強い下水道
- 具体的施策
 - 処理場の耐震化促進
 - ポンプ場の浸水対策

○目標の管理は、
個々の「計画」にて行う。

- スtockマネジメント計画
- 経営戦略...など

個々の「計画」の進捗管理を踏まえ、
ビジョンの評価を行いたい。

